

【南区】令和元年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年9月9日（月） 午後3時～4時
場 所	南区役所6階 特別会議室
出席者	<p>【座 長】仁田昌寿議員</p> <p>【議 員：3名】遊佐大輔議員、渋谷健議員、荒木由美子議員</p> <p>【南 区：26名】松山弘子区長、富井孝副区長、 北川寛直福祉保健センター長、 永木宏一郎福祉保健センター担当部長、 水谷俊之土木事務所長、小出健消防署長（災害対策担当部長）ほか関係職員</p>
議 題	<p>(1) 平成30年度南区個性ある区づくり推進費の決算について</p> <p>(2) 令和元年度南区個性ある区づくり推進費の執行状況について</p> <p>(3) 令和2年度南区個性ある区づくり推進費の編成に向けての考え方について</p>
発 言 の 要 旨	<p>【荒木議員】</p> <p>職員の皆さん、総力を挙げて台風に対応いただいて本当にお疲れ様です。施設への被害で、保育園やケアプラザは、通常の業務ができていのでしょうか。学校は休校のようですが、保育園は仕事に行く保護者ために開かなければならないと思いますが、どう対応されているのか伺います。</p> <p>【長門こども家庭支援課担当課長】</p> <p>ご心配いただきましてありがとうございます。</p> <p>昨日の時点で、5園全て、徒歩で来られる職員を配置しました。私は、保育園に前泊して、各園の被害状況などを電話で確認しましたが、保育園が開けられないような状態ではなかったと聞いております。お陰様で朝7時から平常の保育をしております。</p> <p>【永峯福祉保健課長】</p> <p>地域ケアプラザの状況でございますが、六ツ川地域ケアプラザと清水ヶ丘地域ケアプラザは開館はしていますが、停電していますので、デイサービス等は休止しています。夜間も空調が効かないため、本日は17時で閉館の予定です。明日は9時から開館する予定ですが、停電の状況を見ながら判断してまいりたいと考えています。職員は出勤をしています。</p> <p>【荒木議員】</p> <p>資料26ページにある防災マップですが、すごくいいものを作ったなど</p>

発 言 の
要 旨

思います。ただ、どのように活用するかが課題だと思います。

今回の台風では、避難場所への避難者の数はゼロという報告ですが、間違いないですか。

【野坂総務課長】

避難者は、現在3人いらっしゃいます。

【荒木議員】

どの地域の方が避難されたのですか。

【野坂総務課長】

4箇所の避難場所を開設していますが、そのうち、睦コミュニティハウスに避難者がいらっしゃいます。

【荒木議員】

今回の台風でもそうですが、遅い時間帯や悪天候の中での避難はなかなか難しく、避難しなければならないという意識の徹底がまだまだなされていないのが、最大のネックだと思います。せっかく防災マップを作った以上は、宝の持ち腐れにならないように、地区懇談会などでも常にマップを持って来ていただくなど、是非アピールしてほしいと思います。

もう一点確認したいのは、要援護者の避難方法です。高齢者だとか小さいお子さんがいらっしゃる方の避難について、どのように対応しているのか、また、障害がある方の避難についても、名簿を持っているだけではだめだと思いますが、区役所で考えている方法を教えていただけますか。

【小栗高齢・障害支援課長】

ご指摘ありがとうございます。高齢者や障害者の方につきましては、自治会町内会の方に積極的に名簿をお渡しして、その名簿をどのように活用して、日頃からの見守り、支えあいをどのようにしていくか考えていただくよう、説明会をさせていただいています。活用方法については、具体的に各地区での活動事例を取り上げ、参考にしてもらおうという取組をしています。また、ご近助講座で、災害時要援護者をテーマにしてほしいとの要望があれば、積極的に総務課・福祉保健課・高齢障害支援課の3課で対応したいと思っています。

【荒木議員】

ありがとうございます。それぞれ地域特性もあるので、これが一番いいという方法はないと思いますが、皆さんに言い続けられない限り、忘れてしまうので、言い続けてほしいと思います。それから、昨日も私の携帯電話の警報音が何回も鳴って、みなちの絵が出たのですが、南区の防災ツイッターとの連動はどのようになっているのでしょうか。

発 言 の
要 旨

【野坂総務課長】

先生がおっしゃった携帯電話の音は、恐らくエリアメールで、土砂災害警戒情報が発令された時にメールが自動的に入ります。その時には、南区の防災ツイッターも同じようにツイートしています。また、これとは別に、避難勧告対象区域にお住まいの方には、電話やEメールなど登録いただいた方法で情報提供をさせていただいています。同じ内容の情報について、複数の手段でお伝えするようにしています。

【荒木議員】

伝達手段はいくつあってもいいと思います。時間帯にもよりますが、警報が鳴ることによって、自分のいる場所が危険なのか認識してもらうことが一番大事なことなので、引き続きお願いしたいと思います。

それから、今回南区は、流域で浸水した場所がなくて良かったのですが、エリアメールは、浸水も含めて鳴るのでしょうか。

【野坂総務課長】

エリアメールを利用している場合は、浸水についても鳴りますが、今回は浸水ではなく、土砂災害で鳴ったということです。

【荒木議員】

今回のマップは、震災も水害も一体化されているのは良いと思いますが、流域に住んでいる人たちが、自分たちがどういう状況にあるのかを理解していただくことが、避難あるいは災害に備える第一歩だと思うので、是非その点お願いしたいと思います。

次に、28 ページの特定健診の受診率向上についてですが、南区は受診率が低いということで、電話勧奨をしたり、事業者に出向いて受診勧奨すると書かれていますが、特定健診に限らず、がん検診の受診率も低いと思うので、この点も今後の課題として考えていますでしょうか。

【新堀保険年金課長】

ご指摘ありがとうございます。南区の特定健診の受診率は、18 区中最下位でございます。今年度は、健康福祉局が、4 月から9月の受診者を対象に、ゾーラシア等の招待券が抽選で1,000名に当たるというキャンペーンを行っていますが、そのキャンペーンを区でも独自に広報して、受診率の向上に努めているところです。事業者団体への勧奨では、青色申告会、事業会、商店街に出向きまして、啓発を行っています。また、区医師会や薬剤師会と連携しまして、薬局で薬の袋の中にキャンペーンカードを入れてPRするほか、区のホームページで指定医療機関の曜日や受付時間等を掲載しております。引き続き、特定健診の受診率向上に努めていきたいと考えています。

発 言 の
要 旨

【永峯福祉保健課長】

がん検診でございますが、生活習慣病の予防の講座ですとか、地域に出向く各種講座などの際に、きめ細かく、がん検診の内容を説明するなど受診を勧奨しています。

【荒木議員】

自殺対策事業ですが、学校が夏休み開けの9月は、自殺が多いということで、かなりマスコミ等でも報道されていますが、命をどう守っていくのかという取組はとても大事だと思います。自殺すると言って相談に来る人はいないと思いますが、生活支援課に来て、色々と悩みを話されて、何らかの精神疾患だと窓口で判断できるかどうかは難しいし、なかなかMSW（メディカル・ソーシャルワーカー）がいないことは課題だと思いますが、次のステップにつなげる対応について、区として何か考えているのでしょうか。

【永峯福祉保健課長】

南区では、区の職員全員がゲートキーパーになろうという取組を進めています。これはかなり前から行っているもので、生活支援課だけではなく、自殺をしたいという気持ちを持った方がどこにでも来る可能性があるということで、誰もがそういう方に気付けるように、転入職員や専門職などに対して、それぞれの職種に応じた研修を行っており、今年度は、地域ケアプラザなど周辺の施設の職員にも研修を行います。

【荒木議員】

すごく嬉しいです。その悩みに対してアンテナがあるかどうかで、アプローチが違ってくると思うので。まずは、聞いてあげることが一番基本だと思いますが、精神障害の方たちが運営している施設やSSW（スクール・ソーシャルワーカー）などとの連携も大事だと思います。是非この点もよろしくお願いします。

最後に今回の南まつりですが、暑い中、本当にありがとうございました。急遽、2日間から1日に日程変更をされ、臨機応変の判断も大変だったと思います。去年は中止でしたし、これで2回目の変更となった訳ですが、暑さの中で火を使っている人たちが熱中症となり、お子さんやお母さんも倒れたりして、私も消防団として搬送を手伝ったりしました。熱中症に対するフォローは、もっと必要だと思います。ミストシャワーはあって良かったのですが、足りているのかという感じがあります。これ以上実施時間を縮めるのも厳しいかも知れませんが、南まつりで急病者が出ないよう、もう少し配慮も必要かなと思います。この異常な暑さの中で、開催日程をずらせないということであれば、熱中症対策の配慮をもう一回考えていた

だいて、是非見直しをお願いしたいと思います。

【姫浦地域振興課長】

今回の暑さ対策の取組として、開始時刻の30分繰り下げとミストシャワーの設置のほかに、よしずを設置しました。先生がおっしゃったとおり、中学生8名ぐらいが体調不良となりました。当初、男女共同参画センターに冷房完備の休憩室を設けていましたが、遠いため、「まいたエコサロン」を使わせてもらいました。

出展者の方々にはネッククーラーや塩飴等を配り、多少なりとも熱中症を防げたのではないかと考えています。

【荒木議員】

確かにエアコンが効いた部屋で休むだけで十分有効だったので、距離的には、あの場所がベストだったと思います。ただ、消防団など消防関係と区役所の保健師さんとの間で、連携があまり取れておらず、混乱したので、今後はよく考えていただきたいと思います。いろいろ苦勞があると思いますが、どうか怪我人などが出ないように、よろしくお願いします。ありがとうございました。

発 言 の
要 旨

【渋谷議員】

私も荒木議員と同じく、南まつりについてお聞きしようと思います。この2年間で、結果として4日の予定が1日しか開催できなかったということが、事実としてありますし、この時期が暑いということは、前提として分かっていますよね。私も昨日、自分のイベントがありましたが、途中で豪雨に見舞われてしまい、15分ぐらい行っただけで終了となりました。昨今の気象状況は、特に8月末から9月上旬は、いつ台風が来てもおかしくないし、異常な高温だというのは分かっているので、それでもなお、この時期にやらなければならないのでしょうか。

もう一度言いますが、この2年間で1日しか開催できておらず、今後も中止になる可能性が高いし、この時期は猛暑だということは分かっているのですから、改めて真剣に日程変更を検討すべきではないのでしょうか。変えるというのはなかなか難しいかも知れませんが、せっかく計画しても、中止になる場合が多いのでは意味がないと思います。

どういう理由で変えられないのか、どういう議論があるのか、教えていただければと思います。

【姫浦地域振興課長】

一年前の第2回の区づくり推進市議員会議で、先生方から暑さ対策と開催時期についてご質問等をいただきました。横浜市全体でも暑さ対策を

行っている中で、区役所と実行委員会も、強く受け止めまして、第3回南まつり実行委員会で、開催時期等についてのアンケートを行いました。その結果、地域としては、皆さんこの時期がいいとおっしゃったのですが、主な理由としては、「夏の風物詩として定着しているお祭りなので時期の変更は難しい」「時期を変更した場合、地域の行事への影響が大きい」「暑さ対策については、こまめな注意喚起、安全の徹底と共に個人の意識向上を図っていく」等の意見等でした。このアンケート結果を踏まえ、今年もこの時期に行ったのですが、今年も台風が来てしまいました。今年と去年は中止だったのですが、その前の年は、選挙の関係で時期をずらして開催しました。7月の最終週は、3年連続で台風が接近していますので、時期の変更等は、様々な意見があつてなかなか難しいのですが、暑さ対策等を行いながら、検討してまいりたいと思っております。

【渋谷議員】

アンケートは、誰に対する、どのような内容のものですか。

【姫浦地域振興課長】

南まつりの運営委員会の委員と実行委員会の委員計 60 人にアンケートを送付し、52 人の方から回答をいただきました。

【渋谷議員】

役員の人たちは、まつりに対する意識がある程度が固まっているので、変えるということはなかなか難しいかも知れないですが、現実に中止になっていますよね。

予定しても結局開催できないのでは意味が無いし、熱中症が出るのが分かっている、無理やりその時期に行って、万が一のことがあった時に、一体誰が責任を取るのでしょうか。何か事故があつて、やっぱり起きてしまいましたかというわけにはいかないのですから。昨今の気象状態も含め、ただ単にアンケート取るのではなく、区の意向というものを出して、前向きに検討していくべきではないですか。もう少し区役所がリーダーシップを持って、検討策を考えた方がいいのではないかと思います。今年も結局、一日中止になったという事実を前提に、是非改めてご検討いただければ、というより、皆さんにご意見を聞いていただければと思います。

資料の 10 ページを見ていると、イベント等における暑さ対策の実施ということで、主に南まつりで 300 万円支出しています。これは、暑い時期に南まつりをやらないとだめだという理由で余計にかかるお金だと推測します。そういうことも含めて、区役所がリードする形でご検討いただければということです。よろしく願います。

あともう一点。来場者が延べ 5 万人と書かれていますが、本当に一日で

発言の
要旨

5万人も来たのですか。ちょっと盛り過ぎではという感じがするのですが、どうやって調べているのですか。

【姫浦地域振興課長】

去年は、2日間で7万人という計算でしたが、今年は一日で5万人。人の動きなどを目測しています。

【渋谷議員】

去年は中止だったので、一昨年よりも見かけが多いなど。だから、一昨年は2日間で7万人で、1日平均にすると3万5千人だから、とりあえず、今年は3万5千人より多そうだから、5万人だなという程度の話ですか。

【姫浦地域振興課長】

はい。

【渋谷議員】

いっぱい来たという印象はいいのですが、南区民の4分の1ぐらいが来たという話になるので、それは実態に即していないと思います。何も無理に盛る必要はないので、別にそんな数字を書かなくても、来たい人が来て喜んでいるのですから。ただ、一度数字を出してしまうと、来年以降、本当に調べた時に、全然数字が違うっていうことになって、これは一体どうということかという話になると思います。数字というのは独り歩きしますから。以上です。

発言の
要旨

【仁田議員】

一点だけ私のほうから質問を。先程の特定健診の受診率向上の話ですが、28ページにある未受診者への電話勧奨の結果は、感触としてどうだったのでしょうか。

【新堀保険年金課長】

8月に合計で1,896件、未受診者の方に直接お電話させていただきました。そのうち、本人とお話しをしたのが624件、約33%です。ご家族については201件、10%程度で、合計40%の方に直接お話しまして、特定健診のご案内をするとともに、受けてもらっていない理由等をお聞きして、今後は、是非受診していただきたいという話をさせていただきました。

【仁田議員】

ちなみに、目標数字として、何%を何%にするというのはあるのでしょうか。

【新堀保険年金課長】

はい。横浜市の目標としましては、平成30年度が28%で、令和元年度は30.5%となっております。

発 言 の
要 旨

【仁田議員】

ありがとうございました。引き続き、ご努力いただきたいと思います。

【荒木議員】

最初の区長のあいさつでお話があった生活支援課の不祥事の件ですが、研修に努めるというお話では、やはり「ホウレンソウ」が一番だと思うんですね。実際に事件が起きた時に、「ホウレンソウ」がきちんとできていたのかという原点に戻るのだと思います。もちろん職員一人一人の自覚ももちろんあるのですが、生活支援課の事件もそうですし、さっきの自殺予防の話ではないけれど、職員の様子を変だと思極める幹部職員の皆さんも大変だと思うのですが、不正なことが起きてしまうと、南区だけではなくて、横浜市全体の信頼失墜になってしまいます。何か職場に言えないような雰囲気があるのだと思います。頑張っている人ほど自分を追い詰めたりすることもあります。その辺、チームとして、今から何をしようとしているのか教えてください。

【富井副区長】

若い職員がなかなか言い出せないというようなことで起きた不祥事が、昨年から3回続けて起きたということで、私と永木センター担当部長と二人で全職員研修を行っています。先生がおっしゃったとおり、言い出せないということには何か理由があるはずですが、その一つは、言い出せる場がないということです。それについては、責任職がきちんと場を設けていきましょう、という約束を研修の中で話をしております。もう一つは、職員の側から何をどこまで報告すべきなのかははっきりしていないということなので、そういうことも職場の中でよく話し合ってくださいという話をしております。全職員に対する研修が終わり、9月中に各職場の中でどのような報告、相談の場を設けるのか、具体的に話をするとしています。9月中にまとめて、10月から実行するというようなスケジュールで、改善に取り組んでいるところです。

【荒木議員】

私も職員時代に学んだことは「失敗したことによって自分が成長する」というか「やり直せるんだ」ということですが、このことを若い人に言ってあげないと、チャレンジもしなくなってしまうし、どんどん前に出ることが怖くなると思うのです。だから、よかれと思ってやったことについても、その判断をする際には、きちんと共有をする人に相談するというのが原則だと思うので、是非そこは、職員を育てるという意味でも、言いやすい雰囲気とか、あるいは、一步踏み出したいけどどうなのか、皆で共有す

発言の 要 旨	<p>る会議をコンスタントに開かなければならないと思います。ただし、パソコン画面を見て黙々と仕事をしている人に声を掛けるというのは、なかなかできないと思うので、そういう時間を皆さんで工夫しながら取っていただけるといいかなと思います。昔と違って、5時で仕事が終わりましたといっても皆さんすぐに退勤できるわけではないし、今の若い人たちは、プライベートな時間まで一緒に共有しましょうというのも嫌がると聞いているので、なるべく、勤務時間中に何でも喋れる雰囲気を出せるということが、一番決定的だと思います。大変なことが続いて、皆さんご苦労されていると思いますが、そういう意味では、皆で頑張るという雰囲気を是非出しつつ、この失敗を機にグレードアップができるように、お互いに切磋琢磨していただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
------------	--